



舞台裏の努力

表には出てこないが、舞台裏でも、ユニセフはあらゆる場面において、世界の子どもの生存、発達、保護のために皆様からお預かりした大切な資源を守る努力を続けている。健全な財政・経営管理を通じてアカウンタビリティ（説明責任）を保障し、資源が効率的に、かつ高いコスト効率と透明性の元で活用されるよう追求している。

2004年には、国連改革が引き続き重要な課題となった。ユニセフは、国連開発グループの管理・プログラムグループ、調整・簡略化タスクフォース、その他のサブ・グループへの参加を通じて、国連改革に関する機関間活動に引き続き携わった。これらのサブ・グループには、サービスと人事政策、現地調整官の問題や国連共有地に関するグループが含まれる。

国連改革はすべての分野に

国連改革の計画の一環として、ユニセフは、スタッフの福祉増進のために国連開発グループと共に努力した。職場におけるHIV／エイズに対する、国連全体の対応強化を継続。新しい広報ツールがユニセフの中で配られた。2004年、71のカントリー・オフィスがHIV／エイズに関する最低限の基準を実行するための計画と予算を準備したが、これは前年度の46カントリー・オフィスと比べ顕著な増加となった。このほかの面では、協働のカウンセリング・プログラムが改善され、現地事務所、および本部レベルの双方で、職員がよりよくストレスに対処できるようになった。

ユニセフはまた、国連のパートナー機関と協力して活動を行っている国々において、ジョイントオフィス・アプローチを拡大している。これに伴い、インフラ面でのソリューション、ビジネスシステムと情報テクノロジーを統合すべく、緊密な協力が行われている。2004年の顕著な成果は、DEVInfoという、ミレニアム開発目標に向けた進捗状況を把握するためのモニタリング・システムが立ち上げられたことである。ユニセフはこのツールの開発を主導。2004年度に、すべてのユニセフ現地事務所と現地と一緒に活動する国連チームに導入された。このDEVInfoは、政府や非政府組織も利用することができる。

サプライ（供給）

支援物資の供給面では、2004年度に、国連グローバル・マーケットプレイスが立ち上げられ、供給業者は国連の15機関との登録をこの窓口1カ所で行うようになった。

ユニセフによる物資調達には、2004年度には総額7億9,700万米ドル（輸送費は除く）に及び、2003年度と比較して12%の増加となった。さまざまな日常品の調達量が増加したため、その中には、ユニセフが世界最大の購入者となっている殺虫剤処理済みの蚊帳（2003年度と比較して61%増）、医薬品（同89%増）、教育資材（27%増）、水・衛生資材（24%増）、ワクチン（8%増）などが含まれている。全調達の3分の1は開発途上国からの調達である。2004年度には、1億200万米ドル相当の物資が「ワクチンと予防接種のための世界的同盟（GAVI）」からの資金により調達された。



調達サービス（子どもたちによりいっそうの資源が回るように、ユニセフが外部のパートナーのために支援物資を調達するシステム）は、2004年度には2億2,300万米ドルに及び、うち76%はワクチンの調達であった。教育資材や栄養関連物資、医薬品も大幅に増加した。

物資供給センターとユニセフのブリュッセル事務所は、欧州委員会人道援助局（ECHO）とのパートナーシップの強化に力を入れてきた。ECHOはユニセフの緊急支援への拠出元としては第3位に位置する。物資供給センターは、ヨーロッパ連合とECHO向けの物資調達の処理速度の向上にも取り組んでいる。また物資供給センターとECHOは、ユニセフを180の非政府組織パートナーのための調達センターとすることも合意を結んだ。

ユニセフは、今や世界の90を超える国々に支援物資としての日用品を送っている。

人的資源

2004年に、ユニセフは人的資源管理の面で、手続きの簡素化、効率的な技術とシステムの自動化を目指した。引き継ぎ管理計画の導入により、上級職員の配置が以前よりもタイムリーに行えるようになり、新しい緊急対応チームの能力も向上、人員の早急な派遣を可能にするスタンバイ方式も同様に対応能力が強化された。これらは、スマトラ沖地震・津波へのユニセフの対応を見てもわかるとおり、有効であることが証明されている。

以前からの経験をもとに、「P²D」として知られるパーソナル・プロフェッショナル開発研修プログラムは職員のキャリア開発の質を高め、ユニセフ職員全体の約60%がこれを利用した。また2004年度には、カンントリー・レベルの専門職員の約55%がプログラム処理に関する研修を受けるとともに、自己学習用の電子コースもプログラムの手順やユニセフのその他の活動分野に関する知識の増進に貢献した。

情報技術

2004年度、ユニセフは技術力を大幅に高め、緊急事態に対する備えと対応能力を整備した。緊急事態における通信面では、移動型の衛星通信ツールである超小型衛星通信地球局（VSAT）の価格削減に努力し、緊急時の機関間通信に関する基準の確立に取り組んだ。

これらに加え、ユニセフ本部における接続バックアップ、およびバックアップシステムの強化により、業務の連続性が途切れることも以前より少なくなった。ウェブメールの導入、プログラム管理システム（PROMS）へのワイヤレス接続および遠隔アクセスにより、ユーザーの可動性も向上した。

PROMSの簡易化、本部管理システムとのさらなる統合も進められ、生産性が上がり、世界的に情報がよりタイムリーに入手できるようになった。業務報告の面でもシステムの改善がなされ、現地事務所の計画立案などにもこのシステムがますます利用されるようになった。

インターネット上でのユニセフのプレゼンスも拡大。ユニセフ本部のウェブサイト内の検索機能が改善されたほか、フランス語版、スペイン語版のサイトの再立ち上げ、若者のためのインターネット上のフォーラムである「Voices of Youth（若者の声）」の再開も目を引いた。

技術面における迅速な向上努力に対して、情報担当部門の長や、そのほかの情報担当トップ向けに出されている雑誌『CIO』から、ユニセフは3年連続でCIO100賞を受賞した。



子どものためのパートナーシップ

今日の子どもたちが直面しているあらゆる課題に挑戦していくには、子どもにふさわしい世界を創ろうという共通の目標を持つ、幅広いパートナーとの協力が必要である。ユニセフは、公的機関や非営利組織などと、あらゆるレベルで——世界的レベル、国家レベル、そして地域レベルで——パートナーシップを結んでいる。民間の人々や、企業と手を取り合い、彼らの持つエネルギーを子どもたちのために活用しているのである。ユニセフはまた、親善大使の持つスターとしての力を結集し、世界中の子どもたちにスポットライトをあてている。

公的な部門

政府間機関、議員、宗教的信念に基づいて活動を行う組織、若者関連の組織、スポーツ機関、学術機関、通信機関、およびその他のグローバル・ムーブメント・フォー・チルドレン（子どものための世界的運動）のメンバーたち——これらの組織とのパートナーシップは、ユニセフ活動の要となっている。子どものための数あるパートナーシップの中から、ほんの一例を次に挙げた。

アフリカ西部における政府間会議

ブルキナファソのワガドゥグにあるフランコフォニー国際組織に所属する、50以上の加盟国とオブザーバー国が参加したハイレベル代表者会議が、ユニセフの報告書「子どもにふさわしい世界を目指して」の発表の場となった。この報告書では、平和な、そして平等な開発というラ・フランコフォニーのビジョンの中心に、子どもの生存と発達、福祉を置かなければならないとしている。

メキシコ・シティの国会議員たち

2004年4月、メキシコ・シティで開催された列国議会同盟第110回国際会議において、ユニセフ親善大使のジェシカ・ラングが「議員のための子どもの保護ハンドブック」の発行を発表。これはユニセフと列国議会同盟が協働して作成した報告書で、国会議員が政治的な影響力と立法能力、予算管理、議員による質問の機会を利用して、子どもたちを搾取や虐待から守るための実際的な方法を解説している。ヨルダンで開かれたアラブ国会議員会議（2004年12月）では、ハンドブックのアラビア語版が発表された。

HIV／エイズに関する南アジア宗教間評議会における宗教者リーダーによる連合

ユニセフの主要なパートナーとなって20年経つ、世界宗教者平和会議（平和に貢献しようとする世界の宗教団体の代表者たちが集う、世界最大の国際的な連合体）は、

ユニセフとのパートナーシップのもと、HIV／エイズに関する南アジア宗教間評議会の設立総会を執り行った。

ナイジェリア・スカウト運動での若者とのパートナーシップ

ナイジェリア・スカウト運動のスカウトたちは、ユニセフからの支援のもと、HIV／エイズ教育に関する研修を受けた。HIV／エイズ教育は、こんどはこうした若者たちから同世代の子どもたちへと伝えられる。スカウトたちはまた、2004年3月にセネガルのダカールで開催されたHIV／エイズに関する汎アフリカ・ユースフォーラムにも参加した。フォーラムには、アフリカの43カ国から245人の若者が参加した。

パレスチナ自治区のスポーツ・グループ

ユニセフとパレスチナ自治区の教育・若者・スポーツの各省が支援、国際サッカー連盟 (FIFA)、国際バレーボール連盟 (FIVB)、カナダ国際開発庁 (CIDA) が資金を拠出する「開発のためのスポーツ」プロジェクトは、2004年度に規模が拡大し、約1万2,000人の若者たち (半数は女性) が直接、ヨルダン川西岸地域とガザ地区にあるスポーツチームに加わった。また、間接的に恩恵を受けた子どもの数は8万5,000人以上にのぼった。

開発機関との協力

2004年に、ユニセフは国際的な非政府組織オックスファム (OXFAM) との間で覚書を起草。緊急事態下での水の供給、衛生促進のためのサービス提供の面で、協力体制を強化することにした。その範囲は、緊急事態のための準備計画の立案、即応体制、緊急事態から開発プログラムへの移行支援にまで及ぶ。

開発途上国、および先進工業国の学術機関

パートナーシップは多種多様に及ぶ。例えば、南アフリカのナタル大学の教授はユニセフと協力して、2004年12月にユニセフと世界銀行が主催した、「エイズにより孤児になった子ども・困難な状況に陥った子どもたちに関するフォーラム」の議長を務めた。コロンビア大学のメールマン公衆衛生校とのパートナーシップでは、9カ国で実施されている母子感染予防「プラス」プロジェクトの物資調達を担当している。

通信メディア分野のパートナーが子どもたちに焦点をあてる

2004年に、ユニセフは子どもの健康に関するドキュメンタリー・シリーズ、「Kill or Cure (死か治癒か)」7本を英国放送協会 (BBC) のために製作。7本のドキュメンタリーは、7週間にわたって毎週1本ずつ、毎日放送された。

企業とのパートナーシップ

ユニセフは、長年の間、多くの企業とパートナーシップを結んでいる。企業からの協力は単に財政的な支援ばかりでなく、研究・開発面での支援、技術的な知識、物流ネットワークへのアクセス、および広範な広報チャンネルの提供などが含まれている。最近のパートナーシップの例を以下に挙げる。より詳細な情報、民間企業との主要タイアップの一覧については、ユニセフのウェブサイトを参考にされたい。

2004年度に、チェコのアメリカーン・エクスプレスとザティシ・ケイタリング・グループは、「グッド・スタート」プロジェク

トを通じて乳幼児総合ケア事業を支援した。

オランダの公的機関と民間企業から成るアグア・フォー・オール (A4A) は、水のプロジェクトに資金、資材、専門知識を提供している団体である。2002年以来ユニセフとパートナーシップを組んでいるA4Aは、2004年度には、マリのプロジェクトに34万米ドル近い資金を拠出している。

フランスの玩具専門家協会は中国南部の乳幼児総合ケア・プロジェクトのために玩具と子どもキャンペーンを立ち上げ、3年間にわたって34万米ドルを拠出する約束をした。

メキシコのサンタンデール・セルフイン銀行は、1,800台ある同銀行の自動現金預け払い機 (ATM) を使用するたびに1ペソを寄付するよう呼びかけ、2004年度は77万5,540米ドルを集めた。

国際線の航空業界と長期にわたって提携を続け、実施しているチェンジ・フォー・グッド・プログラムでは、国際線に乗る乗客に、使用していない外国コイン・紙幣をユニセフに募金するように促し、1991年以来、50カ国以上で5,300万米ドルを超える募金を集めた。ブリティッシュ・エアウェイズの旅客は、1994年以来、3,400万米ドルを超える金額を募金。同社がチェンジ・フォー・グッド・プログラムに参加してから10周年記念となった2004年5月7日には、イギリスのエリザベス女王陛下がヒースロー空港を訪れ、チェンジ・フォー・グッドのマークが入ったブリティッシュ・エアウェイズの機体のお披露目式に臨席された。チェンジ・フォー・グッドの最初のパートナーであるカンタス航空は、2004年の半ばに1,000万オーストラリア・ドル (780万米ドル) というマイルストーンに達した。エア・リンガス (アイルランド航空)、モリシャス航空、アリタリア航空、全日本空輸、アメリカン航空、アジアナ航空、キャセイパシフィック航空、フィンランド航空、日本航空も、同様に航空機内での外国コイン募金を実施している。

スターウッド ホテル&リゾートとのパートナーシップで実施されているチェックアウト・フォー・チルドレン (チェックアウト時に宿泊客に1米ドルの募金をお願いするプログラム) は、1995年以来、1,100万米ドルを超える金額を集めた。このおかげで、ユニセフは予防できる病気から子どもたちを守る予防接種を60万人以上に実施できたことになる。

シティグループ財団は中国、インドネシア、ペルーにおける教育プロジェクトに60万米ドル以上を拠出した。

クレールフォンテーヌ・ロディアは、女子教育を支援するため、バック・トゥ・スクール・キャンペーン「学校は私の自由への道」を通じて、2004年度に27万1,000米ドルを集めた。

カルチュラル・オリンピアドは、2004年のアテネ・オリンピックを記念して作られた国際機関。700万米ドルを拠出して、140万人の子どもたちの予防接種を可能にした。

GE (ゼネラル・エレクトリック) 財団は、従業員の寄付と会社側のマッチング・ギフトを合わせたキャンペーンで2004年

度におよそ150万米ドルを集め、世界中の緊急支援事業を支援。また、中国とメキシコにおける乳幼児総合ケアを支援するために120万米ドルを2年間にわたって拠出した。

スペインにある家族経営のスナック会社、**グレフサ**は、ダル・アル・ウモウマというモロッコの保健プロジェクトを支援している。妊娠・出産時における危険をなくすために、この会社は農村部の保健センターの建設資金として24万4,000米ドル以上を拠出した。この保健センターでは、妊産婦と新生児に良質のケアが提供される。

H&M（ヘネス&モーリッツ）とユニセフのスウェーデン国内委員会は、2004年7月に新しい国際的パートナーシップを発表。世界規模で事業を展開するこのファッション会社は、ユニセフが世界で実施している女子教育と、カンボジアで実施しているHIV／エイズ予防プログラムのために、3年にわたって150万米ドルを拠出する予定である。

イケアが2003年に製作したクマのぬいぐるみ、**ブラム・ベアー**は、アンゴラとウガンダにおける一連のプロジェクト「子どもの遊ぶ権利」のために、160万米ドル以上を集めた。

キンバリー・クラーク社は、2004年にユニセフのプログラムに対する支援を新たに開始し、HIV／エイズで孤児になったり、困難な状況に陥った子どものために、260万米ドルの拠出を約束した。

オブティメディア・オーストラリア（媒体購入専門会社）は、2004年、ユニセフのプロモーションのために無料のメディア企画と媒体購入を実施。ユニセフをオーストラリアのテレビ視聴者にとって馴染み深いものにしてくれた。

オレンジ・コミュニケーションズは2001年以来、ユニセフとともに活動してきた世界的な通信会社で、2004年には同社の設立10周年を記念してウォーク・ア・ソンを企画。従業員が参加し、ユニセフのために13万7,000米ドルを集めた。

英国の**ザ・ピア**は2004年度、ユニセフのグリーティングカードの販売を通じて190万米ドルを超える資金を集めるという記録を達成。ザ・ピアはまた、ユニセフの英国国内委員会の「ひとり育てること」と「子どもの搾取を根絶しよう」キャンペーンを支援した。

ポルトガル郵便局とユニセフは、共同ブランドのグリーティングカード・コレクションを制作。3,000カ所を超える郵便局で280万枚以上のカードを販売した。

ストウラ エンソは、基礎教育の分野でユニセフが世界的な協力関係を築いた最初の企業パートナー。2004年4月、同社は、次の5カ年にわたって250万米ドルを拠出する5年契約を締結した。

三井住友カード株式会社は、1988年以来、提携カード・プログラムを通じて100万米ドル以上を拠出している。また、同社が加盟している**ビザ・ジャパン協会**は、1992年以来、ポイント制度を通じて、ユニセフのために200万米ドル以上を拠出している。

サンリオの国際的キャラクターである**ハロー・キティ**は、誕生30周年を記念して、女子教育プログラムのためにさまざまな活動を展開し、15万米ドルを集めた。

ユニセフ親善大使

ロード・リチャード・アッテンボロー（英国、1987年に任命）、**アミターブ・バッチャン**（インド、2005年）、**エマニュエル・ベアール**（フランス、2002年）、**デビッド・ベッカム**（英国、2004年）、**ハリー・ベラフォンテ**（米国、1987年）、**ジャッキー・チェン**（中国特別行政区香港、2004年）、**ジュディ・コリンズ**（米国、1995年）、**ミア・ファロー**（米国、2000年）、**ダニー・グロバー**（米国、2004年）、**ウーピー・ゴールドバーグ**（米国、2003年）、**アンジェリク・キジョー**（ベニン、2002年）、**ヨハン・オラフ・コス**（ノルウェー、1994年）、**黒柳徹子**（日本、1984年）、**フェミ・クティ**（ナイジェリア、2002年）、**レオン・ライ**（中国特別行政区香港、1994年）、**ラン・ラン**（中国、2004年）、**ジェシカ・ラング**（米国、2003年）、**リッキー・マーティン**（プエルトリコ、米国、2003年）、**シャキーラ・メバラク**（コロンビア、2003年）、**サー・ロジャー・ムーア**（英国、1991年）、**ナナムスクーリ**（ギリシャ、1993年）、**ユッスー・ンドゥール**（セネガル、1991年）、**バネッサ・レッドグレイブ**（英国、1995年）、**セバスチャン・サルガド**（ブラジル、2001年）、**スーザン・サランドン**（米国、1999年）、**ベンデラ・トメセン**（ノルウェー、1996年）、**サー・ピーター・ユスチノフ**¹（英国、1968年）、**マキシム・ヴェンゲーロフ**（ロシア連邦、1997年）、**ジョージ・ウェア**²（リベリア、1997年）

¹ サー・ピーター・ユスチノフは2004年3月に逝去した。ユニセフは心から哀悼の意を表す。

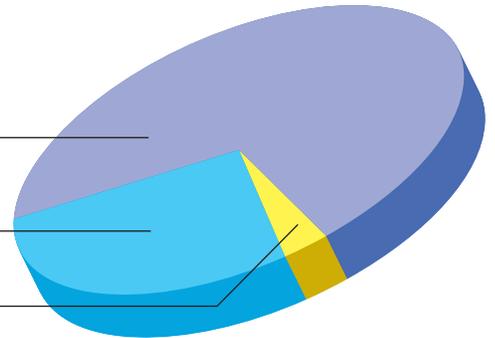
² 2004年、ジョージ・ウェア氏はリベリアの大統領選に出馬することを宣言し、ユニセフ親善大使の職を辞した。

収入

ユニセフの収入はすべて任意拠出による。2004年度の総収入は19億7,800万米ドルであり、2003年と比べると17%増加した。支援予算への振替関連の調整後、19億6,900万米ドルが収入として認められた。2003年度の調整後の収入は16億8,000万米ドルであった。（下記、ユニセフ収入の内訳グラフと50ページの「ユニセフの収入：政府と民間の拠出額、2004年」の表を参照）

ユニセフ収入の内訳（2004年）

政府/政府間組織	68%
非政府組織/民間部門 (国連機関からの拠出を含む)	29%
その他*	3%
合計:	19億7,800 万米ドル



*その他の収入には、利子収入、雑収入および為替調整が含まれる。

*すべてのドル表示は米国ドル。

通常予算とその他の予算

ユニセフの収入は2つのカテゴリーに分類されている。「通常予算」は、ユニセフの執行理事会が承認するユニセフのカントリー・プログラム、事業管理費、および組織の管理・運営に使われる、使途について指定のない資金である。「その他の予算」は使途が限られ、ドナーが特定のプログラムを指定して拠出したものである。その他の予算は、その中でまた、一般拠出と緊急拠出とに分けられている。

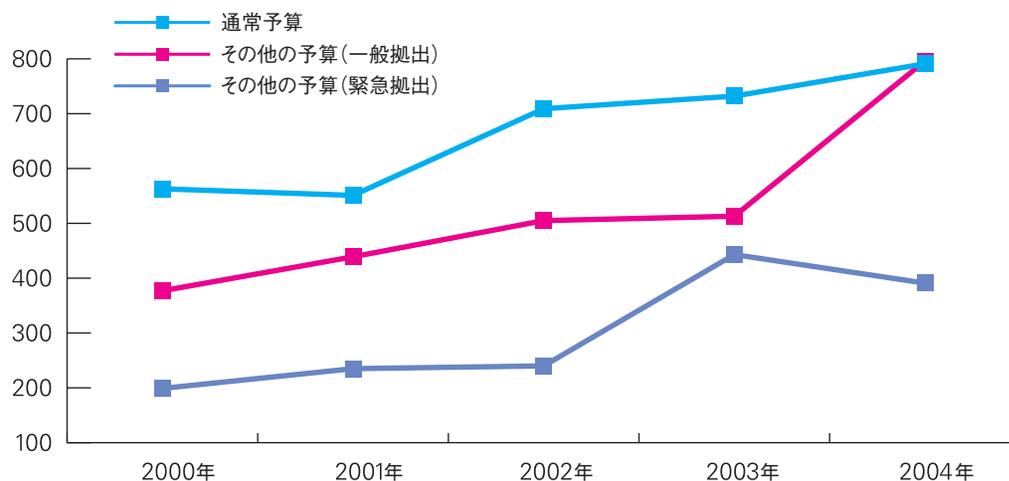
2004年のユニセフ「通常予算」への総拠出額は7億9,100万米ドルであり、調整後、7億8,200万米ドルが収入として認められた。「その他の予算」への拠出は合計11億8,700万米ドル。うち、7億9,600万米ドルは「その他の予算（一般拠出）」に充てられ、残りの3億9,100万米ドルが緊急拠出に充てられた。2003年度から2004年度にかけてのユニセフの収入の伸びは、政府と民間部門がその他の予算（一般拠出）に対してより多くの拠出を行ったためである。

2004年には全収入の40%が通常予算にまわり、当初の計画の45%を下回った。この割合はここ数年下がりつつあり、望ましくない傾向にある。ユニセフは、全世界的なプレゼンスを確保し、活動の継続性を保つために、通常予算に依存しているからである。（44ページ、「ユニセフの収入（2000 - 2004年）」を参照）

2003年、ユニセフは「その他の予算」の中に、新たな形で使途を指定できる「テーマ拠出」を設けた。これは、人道支援のほかに、ユニセフが取り組む優先課題5項目を支援するためのものである。「テーマ拠出」は、国レベルで、テーマに沿った長期の予算編成を可能にしてくれるものであり、報告書もテーマに沿った包括的な報告を出すことになっている。これにより、取引費用の削減が可能になる。2004年度、「テーマ拠出」は1億5,800万米ドルにのぼった（2003年度の5.5倍）。（44ページの表、「テーマ拠出（2003 - 2004年）」を参照）

ユニセフの収入 (2000 - 2004年)

(縦軸単位：百万米ドル)



合計: 11億3,900万 12億2,500万 14億5,400万 16億8,800万 19億7,800万

(単位：米ドル)

テーマ拠出 (2003 - 2004年)

(単位：1万米ドル)

テーマ拠出	2003年	2004年
人道支援	350	6,570
女子教育	2,010	6,090
予防接種プラス	50	1,300
子どもの保護	340	960
乳幼児総合ケア	0	380
HIV / エイズ	150	470
合計	2,900	15,770

政府からの拠出

2004年、各国政府と政府間機関がユニセフに拠出した額は、13億3,900万米ドルにのぼり、2003年と比較して18%増加した。93カ国の政府（高所得国：35カ国、中所得国：41カ国、低所得国：17カ国）が2004年の通常予算に、合計4億3800万米ドルを拠出した（前年比9%増）。各国政府と政府間機関によるその他の予算への拠出は総額9億100万米ドルであり、2003年と比べて23%増加した。

米国は政府拠出のトップを占め、2億6,300万米ドルを拠出した。政府間機関としての最大の拠出機関は欧州委員会人道援助局（ECHO）で、その他の予算に4,900万米ドルを拠出した。うち、3,100万米ドルが緊急支援に充てられた。（次ページの「ユニセフ予算への拠出 上位20政府」、「ユニセフ予算への拠出 上位10カ国（ドナー別、拠出先別）」、および46ページの「ユニセフへの1人あたりの拠出額」を参照）

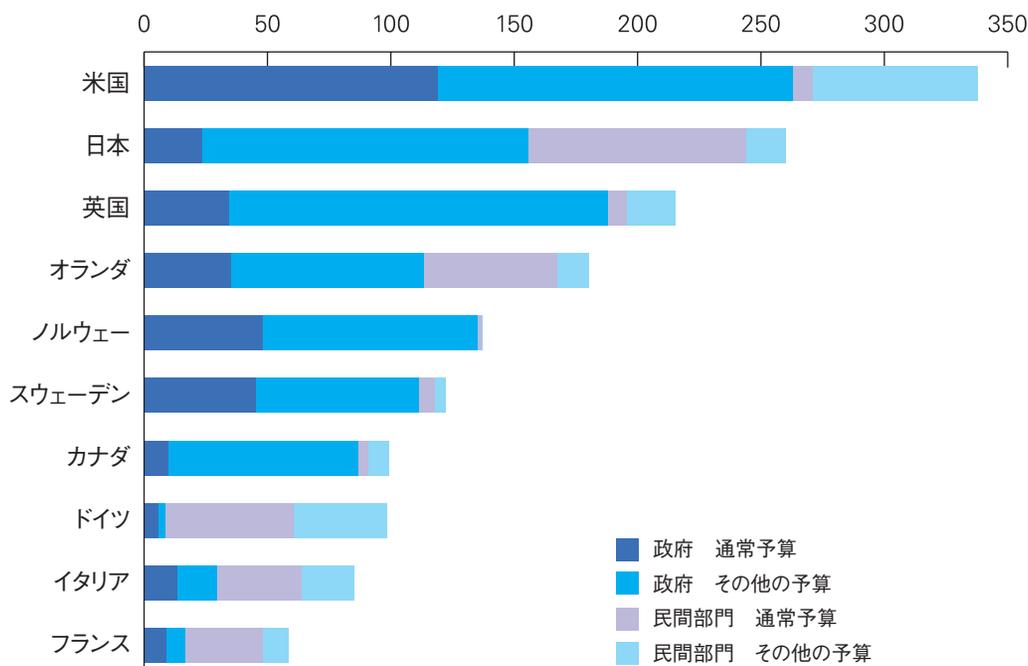
ユニセフ予算への拠出 上位20政府

(単位：1,000米ドル)

政府	通常予算	その他の予算	合計
1 米国	119,292	143,490	262,782
2 英国	34,483	153,474	187,957
3 日本	23,400	132,205	155,605
4 ノルウェー	48,322	86,808	135,130
5 オランダ	35,160	78,245	113,405
6 スウェーデン	45,135	66,462	111,597
7 カナダ	9,926	76,779	86,705
8 デンマーク	29,654	8,493	38,147
9 オーストラリア	4,167	28,032	32,199
10 イタリア	13,480	15,927	29,407
11 フィンランド	15,993	6,010	22,002
12 フランス	9,247	7,371	16,618
13 スイス	14,346	2,217	16,563
14 アイルランド	9,951	4,207	14,158
15 ベルギー	3,817	10,051	13,868
16 ドイツ	5,820	2,875	8,695
17 ニュージーランド	1,467	4,444	5,910
18 スペイン	2,524	3,292	5,816
19 ルクセンブルク	1,085	2,173	3,258
20 韓国	2,100	1,000	3,100

ユニセフ予算への拠出 上位 10 カ国（ドナー別、拠出先別）*

(単位：百万米ドル)



*各国の政府、国内委員会、民間部門、国連機関、政府間機関、非政府組織からの収入を含む。

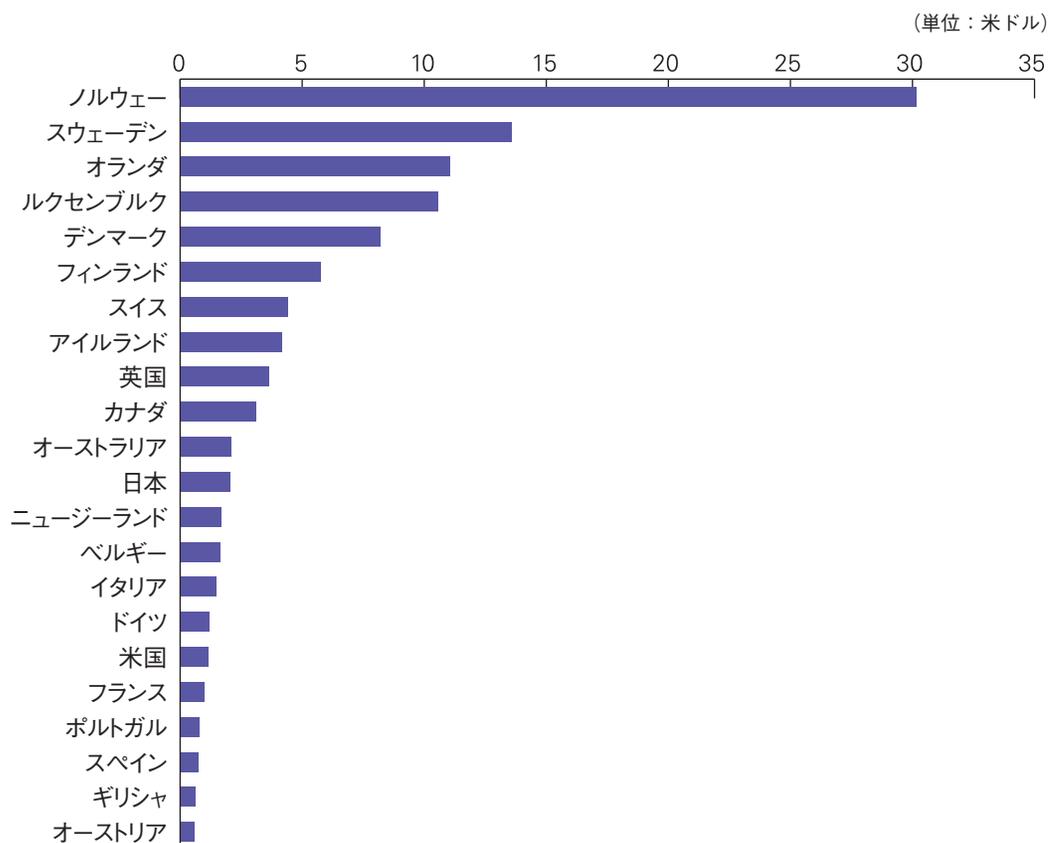
非政府／民間部門からの拠出

2004年の非政府組織、民間部門、国際機関からユニセフへの拠出は5億7,800万米ドルにのぼった。うち2億9,200万米ドルが通常予算に回り、2003年と同額となった。その他の予算向け拠出は2億8,600万米ドルとなっており、2003年度と比較して28%の増加となった。民間部門からの拠出は主にユニセフ国内委員会を通じて寄せられるが、2004年度は日本の国内委員会（日本ユニセフ協会）が最高の募金を集め、1億300万米ドルを拠出した。（次ページの「ユニセフ予算への拠出 上位20国内委員会」を参照）

非政府組織、国際機関の中では、国連財団、ロータリー・インターナショナル、世界エイズ・結核・マラリア対策基金が拠出上位3位に入った。あとには、ワクチンと予防接種のための世界的同盟（GAVI）とカナダの微量栄養素イニシアティブが続いた。（拠出額については、50ページの「ユニセフの収入：政府と民間の拠出額、2004年」を参照）

ユニセフへの1人あたりの拠出額*

経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）メンバー国



*政府、国内委員会、民間部門、国連機関、政府間機関、非政府組織からの収入を国別に合計して計算している。

出典：人口と1人あたりのGNI（2003）はOECD/DACによる。

ユニセフ予算への拠出 上位20国内委員会

(単位：1,000米ドル)

国内委員会	通常予算	その他の予算	合計
1 日本	88,026*	15,182	103,208
2 ドイツ	51,831	37,782	89,613
3 オランダ	53,797	12,882	66,679
4 イタリア	34,312	21,616	55,929
5 米国	8,310	40,630	48,940
6 フランス	31,498	9,867	41,365
7 英国	7,695	19,785	27,480
8 スペイン	17,133	10,093	27,226
9 スイス	9,956	5,944	15,901
10 スウェーデン	6,279	4,153	10,432
11 オーストラリア	5,252	4,187	9,439
12 カナダ	4,211	4,464	8,675
13 韓国	6,822	1,512	8,334
14 フィンランド	6,301	1,666	7,967
15 ポルトガル	5,715	1,401	7,116
16 香港 (中国特別行政区)	4,222	2,675	6,897
17 ギリシャ	5,405	1,283	6,688
18 デンマーク	4,699	1,460	6,159
19 ベルギー	1,330	2,053	3,383
20 オーストリア	2,747	379	3,126

* ユニセフと日本ユニセフ協会の会計年度の違いから、2004年度分拠出額約900万ドルが2003年度に含まれて計上されたため、2004年度報告では当該分が減額調整されています。

支出

ユニセフ事務局長は、ユニセフ執行理事会が承認した事業支援計画実施のための支出を認める権限を持つ。2004年のユニセフの総支出額は16億600万米ドルで、2003年の14億8,000万米ドルと比べて1億2,600万米ドル増加した。(48ページの「ユニセフの支出総計 (2004年)」、「ユニセフの優先分野別の事業支出割合 (2004年)」と「ユニセフの地域別の事業支出割合 (2004年)」を参照)

通常予算は、3つの基準——5歳未満児の死亡率、1人あたりの国民総所得 (GNI)、子どもの人口——に基づいて、執行理事会が決定した一定の公式に則って各国に割り当てられる。(49ページの「カントリー・プログラム 通常予算による事業」を参照)

2カ年の活動支援予算 (2004 - 2005年)

2003年12月、ユニセフ執行理事会は2004-2005年の2カ年活動支援予算を承認した。同予算は、1996-1997年以来初の実質的な増加となった。

活動支援予算には2つのカテゴリーがあり、ひとつはカントリー・オフィスおよび地域事務所用の事業管理費。少額ながら、この一部はユニセフ本部におけるプログラム関連の費用をカバーする予算となっている。2つめは管理・運営用の予算で、執行部門にかかる費用、組織政策、渉外、情報管理、

財政・人的資源の管理などを含む、ユニセフ本部の機能をカバーする予算である。

活動支援予算はまた、治安対策、緊急対応、国連改革関連の活動、中期戦略計画とミレニアム開発目標の達成に向けて事業成果を挙げるための補助的活動、およびグローバル・インフォメーション・テクノロジーシステムのさらなる改善に関連する諸費用もカバーしている。

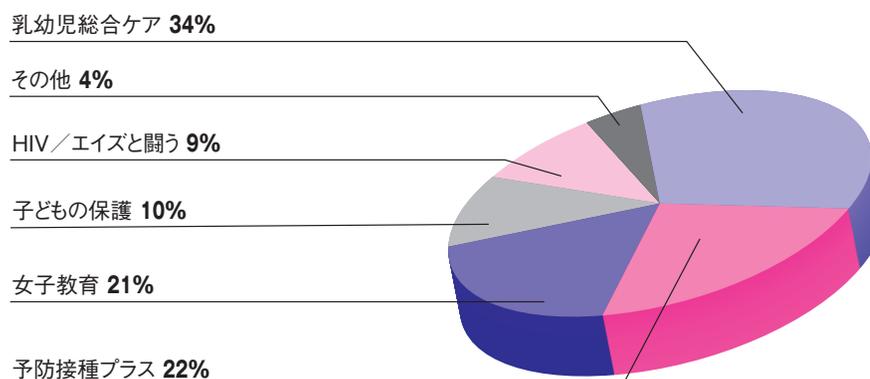
ユニセフの支出総計（2004年）

（単位：百万米ドル）

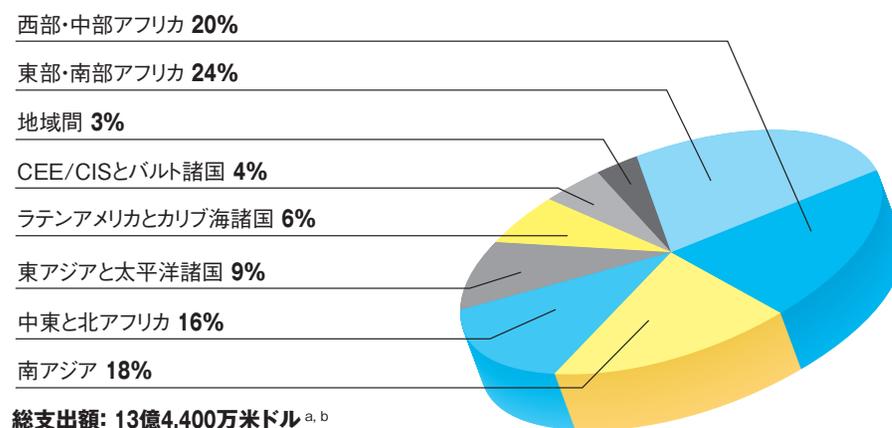
	通常予算	その他の予算 （一般拠出）	その他の予算 （緊急拠出）	合計
プログラム協力費総計	563	586	359	1,508
プログラム支援費	399	586	359	1,344
事業管理費	164	-	-	164
管理・運営	92	-	-	92
損金、前期調整分を除く総支出	655	586	359	1,600
損金	2	2	2	6
総支出	657	588	361	1,606

ユニセフの優先分野別の事業支出割合（2004年）

（事業管理費を除く）



ユニセフの地域別の事業支出割合（2004年）



^a 1億6,400万米ドルにのぼる事業管理費は除く。

^b サハラ以南のアフリカのプログラムへの支出が総支出額に占める割合は48%であった。

カントリー・プログラム 通常予算による事業

ユニセフのカントリー・プログラムは多年度分については執行理事会により承認され、ユニセフの通常予算によって賄われる。その額は下記に示されたとおりである。ユニセフは、人道的な危機が起きた場合などは、「その他の予算」で補充する。

アフガニスタン	2003-2005:	\$27,260,000	キルギス*	2005-2010:	\$5,567,000
アルバニア	2001-2005:	\$3,445,000	ラオス	2002-2006:	\$7,618,000
アルジェリア*	2002-2006:	\$5,662,000	レバノン ³	2002-2006:	\$3,035,000
アンゴラ	2005-2008:	\$22,584,000	レソト	2002-2007:	\$5,579,000
アルゼンチン	2005-2009:	\$3,000,000	リベリア	2003-2005:	\$4,441,000
アルメニア	2005-2009:	\$3,405,050	マダガスカル*	2005-2009:	\$26,241,000
アゼルバイジャン	2005-2009:	\$4,760,000	マラウイ*	2002-2006:	\$23,943,000
バングラデシュ	2001-2005:	\$62,613,000	マレーシア	2005-2007:	\$1,500,000
ベリーズ	2002-2006:	\$3,010,000	モルディブ	2003-2007:	\$3,080,000
ベニン	2004-2008:	\$9,426,000	マリ	2003-2007:	\$24,684,000
ブータン	2002-2006:	\$4,390,000	モーリタニア	2003-2008:	\$7,666,000
ボリビア	2003-2007:	\$5,474,000	メキシコ	2002-2006:	\$3,430,000
ボスニア・ヘルツェゴビナ	2005-2008:	\$2,468,000	モンゴル	2002-2006:	\$4,309,000
ボツワナ	2003-2007:	\$3,100,000	モロッコ	2002-2006:	\$6,983,000
ブラジル	2002-2006:	\$3,705,000	モザンビーク	2002-2006:	\$36,288,000
ブルキナファソ	2001-2005:	\$19,140,000	ミャンマー	2001-2005:	\$33,010,000
ブルンジ	2005-2007:	\$10,908,000	ナミビア	2002-2005:	\$2,584,000
カンボジア	2001-2005:	\$15,583,000	ネパール	2002-2006:	\$21,606,000
カメルーン	2003-2007:	\$13,428,000	ニカラグア	2002-2006:	\$4,509,000
カボヴェルデ	2005:	\$611,000	ニジェール	2004-2007:	\$25,024,000
CEE/CIS とバルト諸国 ¹	2003-2005:	\$3,033,000	ナイジェリア	2002-2007:	\$123,706,000
中央アフリカ共和国	2002-2006:	\$7,732,000	オマーン	2001-2003:	\$1,500,000
チャド	2001-2005:	\$12,204,000	太平洋諸国 ⁴	2003-2007:	\$10,000,000
チリ	2005-2009:	\$900,000	パキスタン	2004-2008:	\$61,616,000
中国	2001-2005:	\$60,349,000	パナマ	2002-2006:	\$2,100,000
コロンビア	2002-2007:	\$5,075,000	パプアニューギニア	2003-2007:	\$5,367,000
コモロ	2003-2007:	\$3,399,000	パラグアイ	2002-2006:	\$3,380,000
コンゴ	2004-2008:	\$4,879,000	ペルー	2001-2005:	\$4,418,000
コスタリカ	2002-2006:	\$3,030,000	フィリピン*	2005-2009:	\$11,686,000
コートジボワール	2003-2007:	\$17,663,000	モルドバ	2002-2006:	\$3,565,000
キューバ	2002-2006:	\$3,069,000	ルーマニア	2005-2009:	\$3,385,000
朝鮮民主主義人民共和国	2004-2006:	\$3,310,000	ロシア連邦、ベラルーシ、ウクライナ	2003-2005:	\$7,467,000
コンゴ民主共和国	2003-2005:	\$48,659,000	ルワンダ	2001-2006:	\$14,147,000
ジブチ	2003-2007:	\$3,450,000	サントメプリンシペ	2002-2006:	\$3,090,000
ドミニカ共和国	2002-2006:	\$3,625,000	セネガル*	2002-2006:	\$10,309,000
東カリブ海諸国 ^{2*}	2003-2007:	\$7,500,000	セルビア・モンテネグロ ⁵	2005-2009:	\$3,325,000
エクアドル	2004-2008:	\$3,912,000	シエラレオネ	2004-2007:	\$11,794,000
エジプト	2002-2006:	\$10,779,000	ソマリア	2004-2008:	\$22,770,000
エルサルバドル	2002-2006:	\$3,419,000	南アフリカ*	2002-2006:	\$4,515,999
赤道ギニア	2002-2006:	\$3,269,000	スリランカ	2002-2006:	\$3,905,000
エリトリア	2002-2006:	\$6,283,000	スーダン	2002-2006:	\$23,690,000
エチオピア*	2002-2006:	\$81,016,784	スワジランド	2001-2005:	\$3,295,000
ガボン	2002-2006:	\$3,100,000	シリア ^{3*}	2002-2006:	\$4,823,000
ガンビア	2002-2006:	\$3,635,000	タジキスタン*	2005-2009:	\$6,421,234
グルジア	2001-2005:	\$3,380,000	タイ	2002-2006:	\$4,689,000
ガーナ	2001-2005:	\$17,165,000	旧ユーゴスラビア・マケドニア	2005-2009:	\$3,060,000
グアテマラ	2002-2006:	\$4,639,000	東ティモール	2003-2005:	\$2,208,000
ギニア	2002-2006:	\$11,966,000	トーゴ	2002-2006:	\$8,131,000
ギニアビサウ	2003-2007:	\$5,124,000	チュニジア	2002-2006:	\$3,329,000
ガイアナ	2001-2005:	\$3,275,000	トルコ	2001-2005:	\$4,500,000
ハイチ*	2002-2006:	\$9,868,000	トルクメニスタン	2005-2009:	\$4,680,000
ホンジュラス	2002-2006:	\$4,260,000	ウガンダ	2001-2005:	\$26,088,000
インド	2003-2007:	\$150,394,000	タンザニア	2002-2006:	\$37,793,000
インドネシア	2001-2005:	\$25,442,000	ウルグアイ	2005-2009:	\$2,000,000
イラク	2005-2006:	\$3,872,000	ウズベキスタン*	2005-2009:	\$9,271,000
イラン	2005-2009:	\$7,880,000	ベネズエラ	2002-2007:	\$2,935,000
ジャマイカ	2002-2006:	\$3,020,000	ベトナム	2001-2005:	\$20,324,000
ヨルダン ³	2003-2007:	\$3,340,000	イエメン*	2002-2006:	\$19,001,229
カザフスタン*	2005-2009:	\$4,926,000	ザンビア*	2002-2006:	\$18,198,000
ケニア	2004-2008:	\$24,659,000	ジンバブエ	2005-2006:	\$3,850,000

2004年にユニセフは157の国、地域、領土で事業活動に協力した。内訳はサハラ以南のアフリカが45（東部・南部アフリカ地域事務所と西部・中部アフリカ地域事務所）、米州とカリブ海諸国地域が35（米州・カリブ海諸国地域事務所）、アジアが34（東アジア太平洋地域事務所と南アジア地域事務所）、中東と北アフリカが20（中東・北アフリカ地域事務所）、中部・東部ヨーロッパ、独立国家共同体、バルト諸国が23（同地域事務所）となっている。

地域活動資金による事業としてセーシェル（東部・南部アフリカ地域事務所）、リビア（中東・北アフリカ地域事務所）での事業がある。

* ユニセフの執行理事会が承認したあとで追加して配分された通常予算を含む。

1 ブルガリア、ラトビア、リトアニアを含む。

2 アンティグアバーブーダ、バルバドス、英領バーズン諸島、ドミニカ、グレナダ、モントセラト、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、スリナム、トリニダード・トバゴ、タークス・カイコス諸島を含む。

3 2004-2005年、次の地域でパレスチナの女性と子どもを支援：パレスチナ自治区（\$1,700,000）、レバノン（\$700,000）、ヨルダン（\$400,000）、シリア（\$400,000）。

4 クック諸島、フィジー、キリバス、マーシャル諸島、ミクロネシア（連邦）、ナウル、ニウエ、パラオ、サモア、ソロモン諸島、トケラウ、トンガ、ツバル、バヌアツを含む。

5 コソボ州を含む。

ユニセフの収入：政府と民間の拠出額、2004年¹

国、地域、領土	政府拠出額		民間拠出額				合計
			ユニセフ国内委員会		その他		
	通常予算	その他の 予算 ²⁾	通常予算 ³⁾	その他の 予算 ²⁾	通常予算 ³⁾	その他の 予算 ²⁾	
アルジェリア	24,000	-	-	-	-	-	24,000
アンドラ	23,864	334,883	190,487	329,654	-	-	878,888
アルゼンチン	-	-	-	-	86,525	1,805,151	1,891,676
オーストラリア	4,166,690	28,032,212	5,251,655	4,187,286	-	-	41,637,843
オーストリア	1,215,754	399,800	2,746,714	379,380	-	-	4,741,648
アゼルバイジャン	6,219	-	-	-	-	-	6,219
バングラデシュ	69,000	-	-	-	-	8,452	77,452
バルバドス	5,038	-	-	-	-	-	5,038
ベルギー	3,816,780	10,051,058	1,329,723	2,052,986	-	-	17,250,547
ベリーズ	50,000	-	-	-	-	-	50,000
ボリビア	-	47,369	-	-	-	39,950	87,319
ボツワナ	7,895	-	-	-	-	-	7,895
ブラジル	-	-	-	-	1,178,558	4,890,086	6,068,644
ブルガリア	2,675	-	-	-	-	-	2,675
カンボジア	10,000	-	-	-	-	-	10,000
カナダ	9,926,415	76,778,571	4,210,935	4,463,707	-	-	95,379,628
ケイマン諸島	9,000	-	-	-	-	-	9,000
チリ	50,000	-	-	-	70,008	320,873	440,881
中国	1,216,868	-	-	-	156,956	401,499	1,775,323
コロンビア	-	-	-	-	475,049	1,047,606	1,522,655
コートジボワール	-	87,500	-	-	-	-	87,500
クロアチア	-	50,589	-	-	286,476	204,509	541,574
キューバ	10,000	-	-	-	-	-	10,000
キプロス	29,400	-	-	-	433,666	-	463,066
チェコ	320,190	38,966	597,606	165,149	-	-	1,121,911
デンマーク	29,654,100	8,492,689	4,698,740	1,459,918	-	-	44,305,447
ドミニカ共和国	-	-	-	-	76,601	-	76,601
エクアドル	-	-	-	-	32,501	198,839	231,340
エストニア	24,000	38,452	(18,194)	-	-	-	44,258
エチオピア	49,305	-	-	-	-	-	49,305
フィジー	-	16,000	-	-	-	-	16,000
フィンランド	15,992,645	6,009,767	6,300,639	1,666,119	-	-	29,969,170
フランス	9,247,340	7,370,912	31,497,762	9,867,240	-	-	57,983,254
ガボン	-	198,500	-	-	-	-	198,500
グルジア	1,562	-	-	-	-	-	1,562
ドイツ	5,820,079	2,874,587	51,831,045	37,781,660	-	-	98,307,371
ガーナ	15,000	-	-	-	-	-	15,000
ジブラルタル	-	-	-	-	23,919	-	23,919
ギリシャ	300,000	67,843	5,404,732	1,283,150	-	-	7,055,725
グレナダ	1,000	-	-	-	-	-	1,000
グアテマラ	500	-	-	-	-	-	500
ギニア	-	-	-	-	-	12,750	12,750
ガイアナ	3,031	-	-	-	-	-	3,031
ハイチ	10,000	-	-	-	-	-	10,000
ホンジュラス	29,810	387,640	-	-	-	-	417,450
香港（中国特別行政区）	-	-	4,221,985	2,674,818	-	-	6,896,803
ハンガリー	48,404	-	298,973	15,421	-	-	362,798
アイスランド	129,814	-	55,436	100,000	-	-	285,250
インド	1,370,510	692,537	-	-	-	-	2,063,047
インドネシア	100,000	-	-	-	223,400	446,554	769,954
イラン	-	-	-	-	156,754	3,498	160,252
イラク	-	-	-	-	-	127,309	127,309
アイルランド	9,951,228	4,207,024	1,270,731	1,250,088	-	-	16,679,071
イスラエル	60,000	-	(13,187)	-	-	-	46,813
イタリア	13,480,390	15,927,022	34,312,196	21,616,337	-	-	85,335,945
ジャマイカ	577	-	-	-	-	-	577
日本	23,400,000	132,205,336	88,026,290 ⁴⁾	15,182,071	-	-	258,813,697
ヨルダン	-	-	-	-	-	3,463	3,463
カザフスタン	10,000	-	-	-	-	-	10,000
ケニア	-	-	-	-	96,742	17,336	114,078
クウェート	400,000	-	-	-	-	-	400,000
ラオス	10,350	-	-	-	-	-	10,350
ラトビア	-	-	13,277	-	-	-	13,277

ユニセフの収入：政府と民間の拠出額、2004年¹ (つづき)

国、地域、領土	政府拠出額		民間拠出額				合計
			ユニセフ国内委員会		その他		
	通常予算	その他の 予算 ²⁾	通常予算 ³⁾	その他の 予算 ²⁾	通常予算 ³⁾	その他の 予算 ²⁾	
レバノン	-	-	-	-	83,400	-	83,400
レソト	678	-	-	-	-	-	678
リヒテンシュタイン	7,813	123,034	-	-	-	-	130,847
リトアニア	-	-	23,473	-	-	-	23,473
ルクセンブルク	1,085,364	2,173,106	1,182,892	315,893	-	-	4,757,255
マレーシア	168,000	-	-	-	-	8,887	176,887
モルディブ	7,500	-	-	-	-	5,000	12,500
マルタ	-	-	-	-	1,477	-	1,477
モーリタニア	22,000	-	-	-	-	-	22,000
モーリシャス	9,746	-	-	-	-	-	9,746
メキシコ	214,000	11,079	-	-	412,809	1,699,639	2,337,527
モナコ	25,000	-	-	-	47,753	-	72,753
モンゴル	11,000	-	-	-	-	-	11,000
モロッコ	-	-	-	-	240,552	44,259	284,811
ミャンマー	1,800	-	-	-	-	-	1,800
ナミビア	1,000	-	-	-	-	118,041	119,041
ネパール	15,000	-	-	-	-	-	15,000
オランダ	35,160,315	78,244,755	53,796,837	12,881,887	-	-	180,083,794
ニュージーランド	1,466,674	4,443,735	612,238	238,139	-	-	6,760,786
ニカラグア	3,000	-	-	-	-	801	3,801
ナイジェリア	-	-	-	-	144,370	170,605	314,975
ノルウェー	48,321,892	86,808,318	1,604,606	542,884	-	-	137,277,700
オマーン	55,000	511,053	-	-	-	16,210	582,263
パキスタン	99,168	-	-	-	-	22,912	122,080
パナマ	26,750	300,000	-	-	84,559	36,902	448,211
パラグアイ	-	-	-	-	-	40,521	40,521
ペルー	20,000	-	-	-	195,622	274,791	490,413
フィリピン	35,222	-	-	-	91,807	657,128	784,157
ポーランド	20,000	-	190,161	-	-	25,372	235,533
ポルトガル	170,000	843,887	5,715,042	1,400,913	-	-	8,129,842
カタール	50,000	-	-	-	-	-	50,000
韓国	2,100,000	1,000,000	6,821,874	1,512,250	-	-	11,434,124
ルーマニア	11,756	-	-	-	-	-	11,756
ロシア連邦	500,000	-	-	-	-	22,003	522,003
サモア	1,000	-	-	-	-	-	1,000
サンマリノ	-	-	20,540	53,087	-	-	73,627
サウジアラビア	-	-	-	-	229,128	131,719	360,847
セネガル	25,310	127,365	-	-	96,711	-	249,386
セルビア・モンテネグロ	-	-	-	-	65,506	19,426	84,932
シンガポール	50,000	-	-	-	53,956	-	103,956
スロバキア	12,180	-	151,644	83,709	-	-	247,533
スロベニア	20,539	-	1,120,324	564,912	-	-	1,705,775
南アフリカ	30,878	210,887	-	-	-	6,148	247,913
スペイン	2,523,873	3,292,384	17,132,691	10,092,849	-	-	33,041,797
スリランカ	15,475	216,138	-	-	-	-	231,613
スウェーデン	45,135,000	66,461,935	6,279,234	4,152,668	-	-	122,028,837
スイス	14,345,612	2,217,056	9,956,479	5,944,244	-	-	32,463,391
タジキスタン	-	-	-	-	-	25,000	25,000
タイ	215,346	295,133	-	-	203,247	2,378,800	3,092,526
トーゴ	-	43,611	-	-	-	22,839	66,450
トリニダードトバゴ	2,700	-	-	-	-	-	2,700
チュニジア	30,579	-	-	-	157,587	9,906	198,072
トルコ	120,000	-	678,180	338,069	-	-	1,136,249
アラブ首長国連邦	100,000	4,923	-	-	-	1,351	106,274
英国	34,482,720	153,474,236	7,694,625	19,784,876	-	-	215,436,457
米国	119,292,000	143,490,339	8,310,453	40,629,913	-	-	311,722,705
ウルグアイ	-	-	-	-	86,795	232,151	318,946
ベネズエラ	47,004	-	-	-	183,672	252,944	483,620
ベトナム	13,709	-	-	-	-	-	13,709
イエメン	9,998	-	-	-	-	-	9,998
ジンバブエ	-	-	-	-	-	137	137
その他の拠出 ⁵⁾	1,662	-	-	-	3,133,824	-	3,135,486
小計	437,153,696	838,602,232	363,518,838	203,011,277	8,809,930	15,751,367	1,866,847,340

ユニセフの収入：政府と民間の拠出額、2004年¹⁾ (つづき)

国、地域、領土	政府拠出額		民間拠出額				合計
	通常予算	その他の 予算 ²⁾	ユニセフ国内委員会		その他		
			通常予算 ³⁾	その他の 予算 ²⁾	通常予算 ³⁾	その他の 予算 ²⁾	
国連、政府間機関、非政府機関							
国連開発機関アラブ湾岸プログラム (AGFUND)		130,000	-	-	-	-	130,000
アジア開発銀行		80,000	-	-	-	-	80,000
コロンビア大学 (米国)		-	-	-	-	754,967	754,967
コンラッド・N・ヒルトン財団		-	-	-	-	470,000	470,000
欧州委員会人道援助局		48,846,737	-	-	-	-	48,846,737
欧州連合 (EU)		18,062,699	-	-	-	-	18,062,699
栄養改善のための世界同盟 (GAIN)		-	-	-	-	1,250,000	1,250,000
国際開発研究センター		-	-	-	-	3,876,030	3,876,030
国際労働機関 (ILO)		-	-	-	-	52,554	52,554
国連エイズ合同計画 (UNAIDS)		-	-	-	-	4,989,938	4,989,938
O P E C 基金		500,000	-	-	-	-	500,000
欧州安全保障協力機構 (OSCE)		24,631	-	-	-	-	24,631
保健適正技術プログラム (PATH)		-	-	-	-	450,223	450,223
ロータリー・インターナショナル		-	-	-	-	7,311,400	7,311,400
黒柳徹子 (日本)		-	-	-	176,000	1,000,000	1,176,000
世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (世界基金) (スイス)		-	-	-	-	4,682,032	4,682,032
ワクチン基金 (GAVI)		-	-	-	-	4,498,182	4,498,182
国連開発計画 (UNDP)		-	-	-	-	42,750	42,750
国連人間の安全保障基金		-	-	-	-	5,468,568	5,468,568
国連開発グループ (UNDG)		-	-	-	-	2,563,484	2,563,484
国連アフリカ経済委員会 (ECA)		-	-	-	-	44,400	44,400
国連教育科学文化機関 (UNESCO)		-	-	-	-	386,400	386,400
国連財団		-	-	-	-	19,757,430	19,757,430
国連人道問題調整事務所 (OCHA)		-	-	-	-	3,350,682	3,350,682
世界銀行		-	-	-	-	4,254,047	4,254,047
世界食糧計画 (WFP)		-	-	-	-	105,000	105,000
世界保健機関 (WHO)		-	-	-	-	530,141	530,141
その他 ⁶⁾		-	-	-	21,795	1,268,260	1,290,055
小計		67,644,067	-	-	197,795	67,106,488	134,948,350
前年との調整 ⁷⁾	485,499	(4,866,520)	-	-	863,026	(669,068)	(4,187,063)
その他の収入		-	-	-	-	-	61,048,001
ユニセフ製品の配送、その他の経費差引額 ⁸⁾		-	-	-	-	-	(81,203,975)
総拠出額		-	-	-	-	-	1,977,452,653
2年度にわたる事業の支援経費		-	-	-	-	-	(8,913,426)
総計							1,968,539,227

注：

- 1) 単位は米ドル、額は四捨五入した。
- 2) 緊急事業資金を含む。
- 3) 民間担当部門 (PSD) の収入を含む。
- 4) ユニセフと日本ユニセフ協会の会計年度の違いから、2004年度分拠出額約900万ドルが2003年度に含まれて計上されたため、2004年度報告では当該分が減額調整されている。
- 5) その他の拠出は、ソースが個々に識別されていない民間部門からの収入が主になっている。
- 6) その他の予算は、非政府組織の収入が主になっている。
- 7) 前年とそれ以前の収入に対する返金・調整を含む。
- 8) PSDが負担したユニセフ製品の配送その他の経費。販売委託者に支払われたコミッションを除く。